

授業科目	解剖学				
担当者	柴田 雅朗				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

頭・頸部の解剖学的な構造を学び、言語聴覚領域の学習の礎とする。

■ 到達目標

中枢神経系、末梢神経系ならびに口腔、喉頭を構成している各部の名称や機能を説明できる。

■ 授業計画

- 第1回 神経系 I
1. 神経系の構成 2. 中枢神経系とは 3. 脊髄 4. 延髄と橋 5. 中脳
- 第2回 神経系 II
1. 間脳（視床と視床下部） 2. 大脳（大脳皮質、大脳基底核、大脳白質）
- 第3回 脳神経
1. 脳神経の概略 2. 脳神経（三叉神経、顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経）
- 第4回 脳室系と脳の血管
1. 脳室 2. 髄膜（硬膜、クモ膜、軟膜） 3. 脳脊髄液 4. 脳の血管（内頸動脈とその枝、椎骨動脈とその枝、ウイリス動脈輪、硬膜静脈洞）
- 第5回 顔面と口腔の解剖
1. 口蓋 2. 口腔底 3. 舌と味蕾 4. 舌の発生 5. 咀嚼筋
6. 嚥下に働く筋
- 第6回 喉頭の解剖と
1. 舌骨と喉頭の軟骨 2. 声帯靭帯と声帯ヒダ 3. 声門 4. 喉頭の筋
5. 喉頭の神経
- 第7回 平衡・聴覚器の解剖
1. 外耳・中耳・内耳の構造 2. 聴覚と平衡覚の伝導路と反射路
- 第8回 三層性胚盤および鰓弓と総復習
1. 三層性胚盤 2. 鰓弓 3. 鰓弓由来の筋とその支配神経
総復習プリント配布

■ 評価方法

筆記試験 100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業を受けた内容について、板書したノート、配布資料、教科書、ネッター解剖学アトラスを用いて、必ず復習を毎回行い、分からない内容がないようにして下さい。分からないことは自分で調べ考えてみて、解決がつかない場合は遠慮なく質問して下さい。

■ 教科書

書 名：配布資料で行います

■ 参考図書

書名：ネッター解剖学アトラス

著者名：相磯貞和 訳

出版社：南江堂

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって

色鉛筆やマーカーなど色分けできる筆記用具を毎回、持ってきて下さい。色は4色あれば十分です。